



| | |
|-------------|----------------------|
| 記者発表資料 | |
| 令和2年10月9日 | |
| 担当課 (担当) | 観光・シオパーク推進課 平井・國森 |
| 電話 | 30-8291 (内線 2693) |

観光需要の回復に向け、砂の美術館の会期を延長します！

7月11日(土)に開館した砂の美術館第13期展示は、ピーク時の入館者数を最大60人とする入館制限やサーモグラフィカメラの設置など、感染予防対策を行いながら、10/8(木)までに73,077人のお客様にお越しいただいています。

今回の「砂で世界旅行・チェコ&スロバキア編」の作品をより多くの皆様にご覧いただくため、会期の延長とともに、春の観光シーズンの開館に合わせた3Dプロジェクションマッピングの開催など、新たな試みを行うこととしました。また、「安心観光・飲食エリア」の一役を担う新型コロナ対策認証事業所として、引き続き安心・安全な砂丘観光を推進し、さらなる賑わい創出に取り組みます。

1 会期延長について

| 現在 (177日間) | 変更後 (514日間) |
|---|--|
| 令和2年7月11日(土)～令和3年1月3日(日) | 令和2年7月11日(土)～令和3年1月31日(日) ※205日間 |
| <当初予定> 令和2年4月18日(土)～令和3年1月3日(日) ※261日間 | 令和3年3月1日(月)～令和4年1月3日(月) ※309日間 【メンテナンス休館】 令和3年2月1日(月)～28日(日) ※28日間 ・キュービクル(高圧受変電設備)増設工事を実施 ・砂像および館内の施設・設備のメンテナンスを実施 |

※第12期展示：268日間

2 会期延長の目的・理由

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響によりオープンが遅れたことや入館制限に取り組む中で、より多くの方に今期展示をご覧いただくため。
- ② 当面、次期展示に向けた砂像彫刻家の招へいが不透明な状況であるため。
- ③ 会期の延長により、本市の観光需要の回復につなげるため。

3 会期延長の効果や新たな取組

(1) 春の観光シーズンの開館

これまで砂像制作のため閉館していた1月及び3月から4月上旬の春の観光シーズンに開館することで、初詣やカニ、卒業旅行や桜・お花見ツアーなどと合わせた旅行商品化を進めます。

(2) 3Dプロジェクションマッピングの開催

例年12月に実施していた3Dプロジェクションマッピングを春の観光シーズンに開催することで砂丘周辺に新たな賑わいを創出します。開催時期：令和3年3月中旬頃を予定

(3) ラइटニングの充実による砂像の演出強化

キュービクルを増設することで館内の電源容量を確保し、照明設備を追加するなど、ライトニング強化により砂像の演出力を高めます。

(4) 重点プロモーションの実施

SNSやメディアなどを活用した情報発信を一層強化するとともに、春の旅行商品の造成に向けて旅行会社等へ働きかけを行うなど、重点的なプロモーション活動に取り組みます。